



KARAOKE Wireless Microphone

KWM-810

取扱説明書

ご使用の前にならざるお読みください

このたびはワイヤレスマイクロフォン KWM-810 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は保証書と一緒に、いつでも取り出せる場所に保管してください。

00M65AA851110

安全上のご注意

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
	分解禁止		水場での使用禁止		注意

設置されるとき

警告

- 振動・衝撃の多い場所に置かない
落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に水などの入った容器を置かない
こぼれた場合、火災の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみ
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
倒れたり、落下するなどしてけがの原因となることがあります。



注意

- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない
火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない
火災の原因となることがあります。
- 調理室や加湿器のそばなど湯煙や湯気があたるような場所に置かない
火災の原因となることがあります。



ご使用になるとき

警告

- 風呂・シャワー室では使用しない
火災の原因となります。



- 本機の内部に金属類や燃えやすいものを差し込まない
火災の原因となります。
- 本機の近くに水などの入った容器、または小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・故障の原因となります。
- 充電端子を金属でショートさせない
火災・故障の原因となります。
- 充電端子に水滴のついたまま充電しない
火災・故障の原因となります。



- 万一、本機の内部に水または金属類が入った場合は、本機の電源スイッチを切って取扱店に連絡する
そのまま使用すると火災の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず電源スイッチを切って取扱店に連絡する
そのまま使用すると故障の原因となります。



- 本機を分解・改造しない
火災・やけど・故障の原因となります。本機を分解および改造することは、電波法で禁じられています。改造すると法律により罰せられます。



注意

- ぬれた手で本機を使用しない
火災・感電・けがの原因となることがあります。



- 本機に水が入ったり、ぬらさないように注意する
火災の原因となります。



- 乳幼児の手の届かないところで使用・保管する
けがの原因となることがあります。



電池について

警告

- 付属のニッケル水素電池パック、または市販の単3形マンガン乾電池・単3形アルカリ乾電池以外を使用しない
火災・故障の原因となります。
- 使用済の電池は火中に投げ入れない
爆発して火災・やけどの原因となります。
- 乾電池は、充電しない
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



- 電池は乳幼児の手の届かないところへ置く
万一、お子さまが飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。
- 充電はかならず専用充電器 KCH-200 を使用する
他の充電器を使用しますと故障や事故の原因となります。



- 電池は分解しない
電池を漏液・発熱・破裂させる原因となります。



注意

- 電池パックの電極はショートさせない
発熱によりやけどの原因となります。電池パックを単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。
- 電池パックは金属性のボールペン、ネックレス、コインなどと一緒に携帯、保管しない
電池パックのプラス(+)端子とマイナス(-)端子の間がショートし、電池パックの破裂、液もれにより火災・けがの原因となることがあります。



- ぬれた手で、電池の出し入れをしない
火災・感電・けがの原因となることがあります。



- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 乾電池・電池パックの極性表示(プラスとマイナスの向き)を確認してから本機内に挿入する
間違えると乾電池・電池パックの破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 不要になった電池パックを廃棄する場合は、各地方自治団体の条例や指示にしたがって処理する



お手入れについて

注意

- 本機のケース部をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布しない
表面を傷める原因となりますので、お手入れはかならずやわらかい布で拭きしてください。
- 1年に一度くらいは内部の掃除を取扱店に相談する
本機の内部にほこりのたまってきたまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については取扱店にご相談ください。
- お手入れの際は電源を切り、乾電池・電池パックを本機から取りはずしてから行う
故障の原因となることがあります。



特長

- ◆ 本機は、総務省の技術基準に適合した 800MHz 帯特定小電力ワイヤレスマイクです。免許および申請の手続きは一切不要です。お買い上げいただいたその日からワイヤレスマイクレシーバーを使って、カラオケ等にご利用になれます。
- ◆ 単一指向性ダイナミックマイクロフォンユニットを採用し、音質と信頼性を重視した設計となっております。また、使いやすい大きさ、形状を考慮しました。
- ◆ 電池は、付属の充電可能な専用ニッケル水素電池の他に、市販の単3形マンガン乾電池、単3形アルカリ乾電池も使用できるようになっております。
- ◆ カラオケボックスなどの狭い範囲で使うことを考慮し、送信出力を下げるすることができます。
- ◆ 電源表示ランプが赤色に点灯することにより、充電の時期をお知らせします。

梱包内容

この梱包箱の中には次の物品が入っています。確認しながら開梱をしてください。

1. ワイヤレス マイクロフォン本体 	2. 専用ニッケル水素 電池パック
3. チャンネル呼称ラベル 	4. 取扱説明書(本書)
5. 保証書 	

ご使用上の注意

- ◆ 受信用ワイヤレスマイクレシーバーは、専用の KWR-810 をお使いください。他のレシーバーを使うと音が出ないことがあります。
- ◆ マイクヘッドが変形したり、濡れたりすると、音質が変わることがあります。また、強い衝撃を与えると、内部の精密な部品が破損し、故障の原因となります。
- ◆ グループ番号が異なるマイクを同一場所で使用すると、混信や妨害、干渉が発生する恐れがあります。
- ◆ 本機のアンテナは、本機の下部にあります。マイクを使用する際は、本機の下部(アンテナ部)を握らないようにご注意ください。アンテナ部を握ると、音が途切れたり、雑音が入る場合があります。

CSRカスタマーサポート

TEL : 042-711-6001

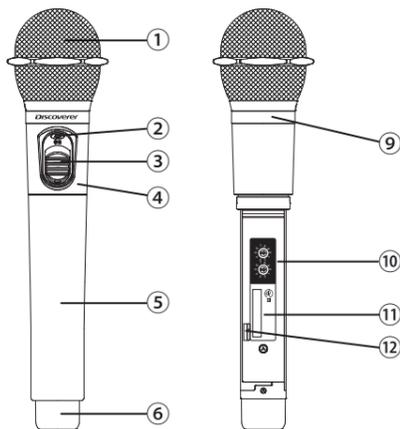
e-mail : support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

各部の名称



- | | |
|-----------|------------------|
| ① マイクヘッド | ⑧ 充電端子一極 |
| ② 電源表示ランプ | ⑨ ロゴ/モデル表示リング |
| ③ 電源スイッチ | ⑩ チャンネル |
| ④ ケース上 | ⑪ チャンネル切換表示/ |
| ⑤ ケース下 | ⑫ シリアル No. 表示ラベル |
| ⑥ アンテナ部 | |
| ⑦ 充電端子+極 | |

操作の手順

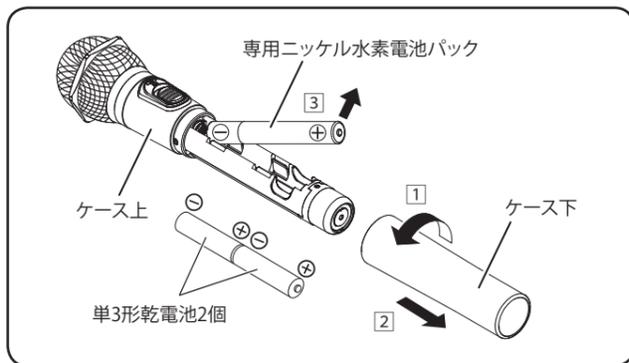
- 電源を入れるには、電源スイッチを「ON」側にスライドします。
 - 電源が入り、動作状態になります。電源表示ランプが緑色に点灯します。
 - レシーバー側の受信ランプが点灯することを確認します。
 - 電源を切るには、電源スイッチを「ON」と反対側にスライドします。
 - 電源が切れ、電源表示ランプが消灯します。
- ※電源表示ランプが赤色に変わったら、電池の残量が少なくなっています。充電を行うか電池を取り換えてください。
- ※電池の連続使用可能時間は、専用ニッケル水素電池パックが約10時間、単3形マンガン乾電池が約2時間、単3形アルカリ乾電池が約12時間です。

本機の使用について

ワイヤレスマイクレシーバー KWR-810 との組み合わせでは、同時に2本のマイクを使用することができます。付属のチャンネル呼称ラベルをマイクに貼り、左右のマイクの判別にご使用ください。

電池の交換方法

- ケース下を図のように①の方向に回して、②の方向に引いて外します。
 - 電池収納部が出てきます。
- 電池を③の方向に取り出します。
 - 電池の(+)側を指でつまんで取り出します。
- 新しい電池を入れます。
 - 電池の(+)(-)の極性に注意し(-)側から入れてください。
- ケース下を挿入し、図と反対方向に回して、取り付けます。
 - 電池交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
 - ニッケル水素電池パックは、本機専用電池をご使用ください。
 - 単3形乾電池をご使用の場合は、図のように2個直列に入れてご使用ください。



チャンネルの切り換え方法

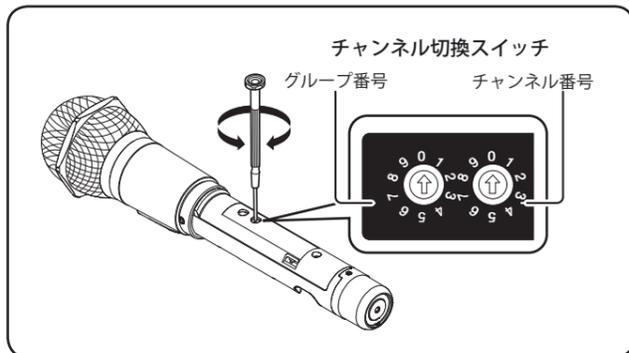
チャンネルの呼称は、法律により定められています。

- マイクの電源を切りケース下を外します。
 - チャンネル切換スイッチは、ケース下を外した、電池収納部の裏側にあります。
 - チャンネル表示スイッチは、2桁でグループ番号とチャンネル番号を表示しています。
- 先の細いドライバー等を使用してチャンネルを変更します。
 - チャンネル呼称表をもとに、また、周囲の条件を考慮してチャンネルを設定し、マイクとレシーバーのチャンネルを合わせてご使用ください。

※チャンネルを設定するときに、電源が入っているとチャンネルは変わりません。

※同一グループ内で、最大6チャンネルの同時使用が可能です。グループ番号が異なるマイクを同一場所で使用すると、混信や妨害が発生する恐れがあります。

※設定したチャンネルと同じチャンネル呼称ラベルをマイクの見やすい場所に貼ってください。レシーバーとチャンネルが合っているか確認するときに便利です。



チャンネル切換スイッチでは、周波数帯表示のBは省略しています。

【チャンネル呼称表】

チャンネル呼称	周波数 (MHz)	チャンネル呼称	周波数 (MHz)
B11	806.125	B41	806.750
B12	806.375	B42	807.500
B13	807.125	B43	808.000
B14	807.750	B44	809.125
B15	809.000	B45	809.375
B16	809.500	B46	809.750
B21	806.250	B51	807.625
B22	806.500	B52	808.125
B23	807.000	B53	808.375
B24	807.875	B54	808.750
B25	808.500	B55	809.625
B26	808.875	B61	807.250
B31	806.625		
B32	806.875		
B33	807.375		
B34	808.250		
B35	808.625		
B36	809.250		

※これ以外のチャンネルを設定しても、電波は送信されません。また、電源も入りません。(例:B56チャンネル、B62チャンネルなどは、設定しても送信されません。)

チャンネル呼称について

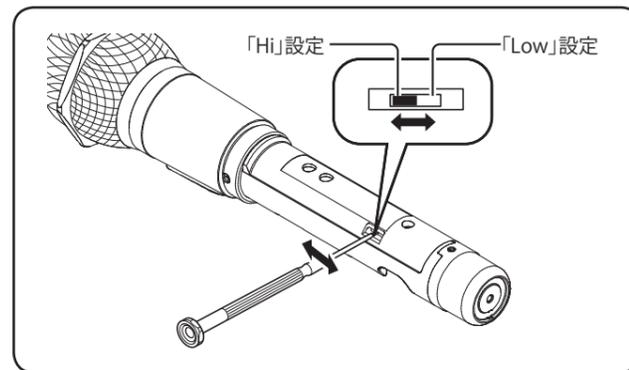
3つの英数字により使用周波数帯やチャンネルなどを表わしたものをチャンネル呼称といいます。チャンネル呼称は次のように定められています。

B	1	1	B: 周波数帯 800MHz 帯の特定小電力ワイヤレスマイクを示します。 a: 1~6のグループ番号を示します。 b: 1~6のチャンネル番号を示します。
	a	b	

送信出力の切り換え方法

本機の出力レベルを2段階に切り換えることができます。

- 電源を切り、ケースを外します。
- 送信出力切換スイッチを希望する出力の位置に合わせます。
 - 通常の場合は、切換スイッチを「H」(10mW)の位置にしてください。
 - カラオケボックスなどの近い距離で同じチャンネルのマイクをご使用の場合は、切換スイッチを「L」(2.5mW)の位置にしてください。
 - 電波の到達距離を短くしてマイク間の混信を抑えることができます。



専用ニッケル水素電池パックについて

- 初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、充電してからご使用ください。
- 充電はできるだけ電池を使い切ってからおこなってください。電池を使い切らないで充電すると、十分に充電をおこなってもすぐに電池が切れることがあります。この現象を防ぐためには、最低でも月に一回電池を使い切ってから充電することをおすすめします。
- 電池の寿命は正常なご使用で約1年、または充電回数で約500回です。十分に充電されて、通常より早めに電池が切れるときは電池の寿命と考えられますので、新しい電池と交換してください。
- マイクおよび充電器の充電端子が汚れていると、充電できないことがありますので、充電端子はいつもきれいにしてお使いください。
- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったニッケル水素電池パックは廃棄せず、ニッケル水素電池リサイクル協力店へご持参ください。



充電について

- 充電器は、専用のワイヤレスマイク充電器 KCH-200 (以下、専用充電器 KCH-200 と表記) をご使用ください。また、充電を行う前には、専用充電器 KCH-200 の取扱説明書もよくお読みください。
- 専用充電器 KCH-200 は、マイクスタンド兼用充電器としてご利用いただけます。
- 充電できる電池は、本機に付属されている専用ニッケル水素電池パックだけです。その他の電池が本機に入っている場合は、充電できません。
- 電池の残量が少なくなるとマイクの電源表示ランプが、緑色の点灯から赤色の点灯に変わります。できるだけ早く充電してください。電池の残量が少なくなると、音声が入らなくなり、途切れたり、雑音が入ることがあります。

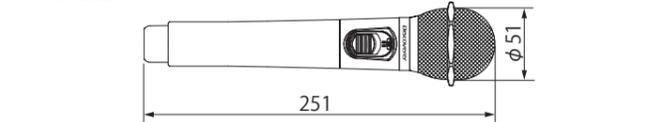
故障とお考えになる前に

故障かな?と思ったときに、修理をご依頼される前に下記の項目を確認してください。下記の項目を確認されても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
電源が入らない	本機の電池残量は十分でしょうか? 電池の極性(+、-)が間違っていてマイクに入っている。	本機の電池を充電するか交換してください。 電池の極性を正しくしてください。
音が出ない	本機とレシーバーのチャンネルの設定が違う。 本機またはレシーバーの電源が入っていない。 本機の電池残量は十分でしょうか? レシーバーとアンプシステムが正しく接続されていない。 本機の電源が入ったままチャンネルを変えた。	チャンネルの設定をチャンネル呼称表より選択し、設定してください。 本機もしくはレシーバーの電源を入れてください。 本機の電池を充電するか交換してください。 各機器の取扱説明書にしたがって接続を確認してください。 本機の電源が入ったままチャンネルを変えても、チャンネルは変更されません。再度電源を入れ直してください。
音が小さい	レシーバーの音量調整が小さすぎる。 アンプの音量調整が小さすぎる。	レシーバーのマイク音量調整つまみを右に回して適正音量にします。 アンプの音量調整を適正音量にします。
受信感度が悪い	レシーバーのアンテナが正しく接続されていない。 本機の下部(アンテナ部分)を握っている。 本機の電池残量が少ない。	レシーバーのアンテナを2本とも正しく接続してください。 本機を正しく持ってください。 本機の電池を充電するか交換してください。
	本機の送信出力がL(2.5mW)になっている。	本機の送信出力をH(10mW)にしてください。

仕様

- 一般特性
 - 電源.....DC2.4V ~ 3V
 - (専用ニッケル水素電池パック、または市販単3形乾電池)
 - 動作温度範囲.....0°C ~ +50°C
 - 外形寸法.....ヘッド系 φ51×251mm(最大直径×長さ)
 - 質量.....340g(ニッケル水素電池を含む)
- オーディオ特性
 - 使用マイク.....単一指向性ダイナミックマイク
 - 平均入力音圧レベル.....94dB SPL(ボイカル用)
 - 周波数特性.....50 ~ 12000Hz
 - コンプレッサ特性.....1/2 対数圧縮
 - 歪率.....1%以下
- マイク特性
 - 電波の形式.....F3E
 - 送信周波数.....806.125 ~ 809.750MHz
 - (125kHz 間隔、30チャンネル)
- 発振方式.....水晶発振による、周波数シンセサイザー方式
- 空中線電力.....H: 10mW、L: 2.5mW
- アンテナ型式.....単一型 V λ/4 (内蔵ループ型)
- 最大周波数偏移.....±40kHz
- トーン信号.....32.768kHz



株式会社 CSR

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>